

三古の水だより

経営面積の増加に
伴う法人化

〈発刊所〉
信濃川左岸流域
農業水利事業所
〒940-0082
新潟県長岡市千歳
1丁目3番88号
(長岡地方合同庁舎6F)
TEL: 0258-31-1011



「三古の水だより」とは？

北陸農政局信濃川左岸流域農業水利事業所が発刊する広報誌です。題字になっている「三古」とは、前歴事業(一期事業)信濃川左岸農業水利事業の原形である昭和20年に樹立した「三古用水改良事業計画」から引用した言葉です。
ちなみに、「三古」は三島郡の「三」と古志郡の「古」より出た本地区を表すものです。
また、当地区は、三度目の国営事業ということもあり、「三」にとっても縁が深い地区としてこの題字としました。

異業種から農業に挑戦

高橋氏は、サラリーマンとして働いていましたが、将来的な事業継承を見据え、35歳で農業へ転身し、家業を継ぎました。サラリーマンを経験したからこそ、人の気持ちを理解し、柔軟な姿勢で取り組めることを強みに、規模拡大を目指しています。

通常期は、20haを超える農地を3人で管理し、繁忙期には、地域のパートさんの他、障がいをもつ人に里手の調整作業に従事してもらうなど、農福連携(左ページ)にて解説)を通じた地域共生の実現にも貢献しています。
栽培する米の品種は、「コシヒカリ」、新之助、もち米(米菓用)、五百万石酒米と多種にわたります。水稻の他にも、10月から大豆、サトイモの収穫、12月からはアスパラ菜を収穫しているそうです。

中央:高橋 代表



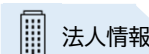
ドローンで叶える地産地消～与板模原～

【新潟県長岡市与板町】

農事組合法人

プラントハーブ まきはら

代表理事 高橋 司 氏



法人情報

住所: 〒940-2416
長岡市与板町模原1738
電話番号: 0258-72-3844
業種: 米、酒米、野菜・大豆の生産・販売

新潟県長岡市にある「農事組合法人プラントハーブ まきはら」(以下、「プラントハーブ まきはら」)は、与板・模原地域のほ場で米、酒米や野菜などを栽培している農事組合法人です。
与板・模原地域は、三島丘陵の山林を背にし、東には信濃川が流れる自然豊かな地域です。また、戦国時代には、直江兼続が与板城を構えていたことでも知られています。
代表理事の高橋氏は、「プラントハーブ まきはら」の2代目社長です。「プラントハーブ まきはら」は、令和3年に誕生しました。周辺農家の高齢化により、農地の委託が多くなるにつれ、作業所(写真)を構え、法人化を行いました。



将来に向けた取組

高橋代表は、営農規模を拡大に伴い、農業用ドローンによる、スマート農業の実践を行うなど高い向上心を持ち営農に取り組まれています。

また、高橋代表は、冬期間に行っているアスパラ菜の栽培・直売について、アスパラ菜を売るだけでなく、ジャムやドレッシングに加工して販売を行う、「6次産業化」に取り組みたいと、新たな挑戦に意欲をみせます。

高橋代表、お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。事業所としても、受益農家の皆様の営農向上に繋がるよう、引き続き事業を推進してまいります。

取材者: 小山 航平・飯吉 優美

ホームページ随時更新中!



↑事業所HP



深堀り

農林水産省では、障がいをもつ人が農業分野で活躍することを通じた社会参画を実現する取組を「農福連携」と称し、その推進に力を入れています。

詳しくは以下のQRコードからご確認ください。



↑ノックWEB

スマート農業



「農業」×「先端技術」=スマート農業

スマート農業とは、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業のことです

プラントハーブまきはらの特徴は、スマート農業にあります。

農業用ドローンによるカメムシなどの病害虫予防・除草剤散布や乾燥機の遠方監視等を積極的に行い、作業の効率化を図っています。

また、作業場に遠隔カメラを設置し、自宅から収穫期の夜間でも、乾燥状況・温度・仕上がり時間を確認できる体制を整備しています。これにより、翌日の作業体制予定を把握することができ、作業の効率化を図っています。



農業用ドローンを使った病害虫予防の様子



上昇する農業用ドローン

従来の背負い式散布機と比べ、肉体的負担と作業時間を軽減!!(1枚当たり、1分弱の作業で完了)